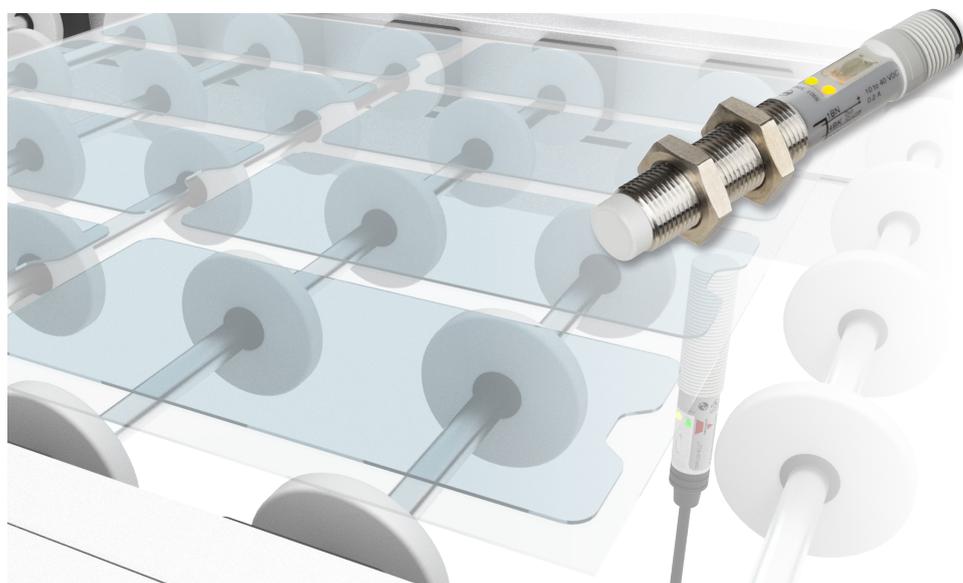


# アプリケーション事例



件名:  
ガラス検出

業種:  
コンベア - 組立ライン

製品:  
CA12...IO

顧客:  
OEM

## 顧客の課題

コンベアベルト上の金属コーティングされたガラスの検出。

以前はこの作業に光電センサーが使用されていましたが、アプリケーションは安定していませんでした。

## 私たちのソリューション

ガラスは金属化されているため、小さな金属層が含まれています。この層は薄すぎため誘導センサーを使用することはできませんが、静電容量センサーの場合、金属化層は非常に簡単に検出できます。

感知エッジが小さいM12センサーを使用すると、位置の精度が向上します。

センサーをIO-Link環境で実行すると、ガラスの位置に応じて0~10,000単位の値が表示されます。

IO-Linkを介して、センサーをさまざまな機能に設定できます。

## メリット

- 静電容量センサーを使用すると、光電センサーを使用する場合よりも、長期間にわたってはるかに安定した検出が保証されます。
- IO-Linkモードでは、実行品質、ティーチ品質、温度情報などの予測メンテナンス機能により、貴重なダウンタイムを回避できます。
- さらに、IO-Linkでは、感度、タイマー、ロジック機能を簡単にカスタマイズできます。